



2017 年度活動報告書

発行:2018年6月

公益財団法人大阪YWCA 東日本大震災被災者支援チーム

2011年3月11日東日本大震災が起きました。

あれから7年…3月11日が近づくとテレビなどマスコミでいろいろと取り上げられます。

震災後から気仙沼に行くごとに立ち寄っていた南町紫市場にあったコロケ屋さんがテレビに出ていました。当時は仮設店舗でしたが今は新しく建った商店街に移り元気にお店を続けられている姿を見てうれしかったのですが、周りの風景は当時とあまり変わっておらず、また観光客なども少ないと聞き複雑な気持ちになりました。そういう私も3年くらい東北に行っていないので時間を見つけて行きたいな。と改めて思いました。

また、福島では地元に戻ってきている！という報道もありました。個人的には本当に大丈夫かな？と感じています。

7年たっても様々なニーズはあると思います。まずは震災を風化させてはいけません。そのためにも今までやってきた活動は続けていきたいと思っています。

私たちにできることはわずかかもしれませんが、少しでも被災された方々に寄り添える活動を続けていきたいと思っています。

2018年4月

大阪 YWCA 東日本大震災被災者支援チーム

砂子 礼



公益財団法人 大阪 YWCA

〒530-0026 大阪市北区神山町1-1-2

TEL (06) 6361-0838 FAX (06) 6361-2997

e-mail info@osaka.ywca.or.jp <http://osaka.ywca.or.jp/>

■大阪わいわいステイプログラム

日程：2017年8月5日（土）～12日（土） 7泊8日

参加者：9名 ボランティア：延べ70名

◇スケジュール◇

日にち	子どもたちの過ごし方	宿泊
8/5(土)	JR福島駅に集合 福島から大阪に移動	シャロン千里 こども館
8/6(日)	デイプログラム 万博公園と観覧車 Osaka Wheel	ホームステイ
8/7(月)	デイプログラム 池田ラーメン博物館と天神橋筋商店街	
8/8(火) ～8/11(金)	大阪YMCA阿南海洋キャンプに参加(3泊4日)	阿南国際海洋 センター
		ホームステイ
8/12(土)	大阪から福島に移動 JR福島駅で解散	

◇8/5（土）福島から大阪へ

男の子3名・女の子6名、計9名の子どもたちをお見送りの保護者の方からお預かりして、福島駅から東北新幹線、東海道新幹線と乗り継ぎ新大阪へ、さらに大阪市営地下鉄と阪急電車を乗り継ぎ吹田市北千里にある今日の宿舎「シャロン千里 こども館へ」。他のお友だちと話ができないのでは……、という保護者の方の心配をよそに、子どもたちはすぐに打ち解けて新幹線移動を楽しみ、長旅にも関わらず、こども館では走り回って遊びました。夕食は、ボランティアの皆さんの手作りカレーとサラダ、豪華デザート付。ボランティアさんも一緒に楽しく、おいしくいただきました。「大阪わいわいステイプログラム 2017」元気にスタートしました。（M. T）



◇8/6（日）万博記念公園

この日は万博記念公園で過ごす1日です。まずは電車とモノレールに乗って万博記念公園へ。モノレールに乗るのはみんな初めてだったようで、1駅ですが乗車を満喫しました。太陽の塔が見えてきて、テンションもアップ↑↑↑



午前中は公園内（屋外）で遊びました。炎天下で心配しましたが、自身で水分補給や休憩もきちんととり、元気いっぱい。屋外は暑いせいか、ほぼ貸し切り状態で、のびのび遊べました。全員で鬼ごっこ、ボール遊びに虫とりなどに精を出しました。

昼食は、休憩所内で、自分たちの好きなメニューを選んで注文。たこ焼きが思いのほか好評で「普段はあまり食べない」そうです。粉ものが外食でおいてあることが珍しいようでした。



午後は、国立民族学博物館見学。少々大人向けかなと心配しましたが、ビデオライブラリーで興味のあるビデオを見たり、展示エリアを行ったり来たり、思い思いに楽しく過ごせたようでした。

最後は、日本一の観覧車 Osaka Wheel に乗車。1周18分、全面ガラス張りの観覧車に大興奮！ゴンドラは床もガラス張りで「全部ガラス張り！全部見えた！」とご満悦でした。（Y. Y）

◇8/7（月）池田ラーメン博物館と天神橋筋商店街

大阪滞在3日目。この日は台風5号が昼過ぎには近畿を直撃するという天気予報のため、少し予定を変更して大阪を楽しむ一日となりました。

雨の中出かけたラーメン博物館では、自分たちでオリジナルのカップラーメンを作りました。お馴染みの容器にマジックで絵を描いて色を塗り、子どもたちは見せ合いっこをしながらペイントしていきます。好きな味のスープと具材を選んで、風船のようなバックに入れて完成！大阪土産のひとつになりました。



お待ちかねのお昼ご飯は、日本一長い商店街、天神橋筋商店街でお好み焼きを食べました。鉄板の上で美味しい香りが広がって、フワフワでアツアツのお好み焼きをみんなはペロリ。おしゃべりしながらの楽しいお昼ご飯は、キャンプに向けてのエネルギーになったようです。（A. S）



◇8/8（火）～11（金）大阪YMCA阿南キャンプ

海に足を踏み入れ海底をのぞけば、ウニやヒトデ、魚や貝・・・様々な生き物に出会いました。海水のしょっぱさや波の高さ、生き物など海の自然は壮大で、自然の神秘に子どもたちの心はどんどん魅かれていきました。海女さんのように何度も潜り、ウニを大量に見つかったり、海で鬼ごっこをしたり、「海」といえども遊び方はそれぞれで、子どもたちそれぞれが秘めている興味関心をぐんぐん引き出してくれました。

カヌー、カヤック、ジャンボカヌーにも乗りました。6人乗りの船では仲間と協力して目的地までいきます。「次左の方漕ごう！」「みんなちゃんと漕いで！」「声だそ！」船からはいろんな声が聞こえてきました。ひたすら漕ぐことに集中するメンバーや、声を出して一番早く目的地に着きたいメンバー。生活の中で異年齢の子どもと関わる体験は少なくなってきました。この時期に誰かと協力すること、同じ目標に向かって進むことの体験が、日常生活や社会に出たときに活かされればと思います。



◇8/12（土）大阪から福島へ

1週間の旅の疲れも見せず、車内をトランプやミニオセロゲーム、お話しや独自のゲームで楽しそうに過ごしていました。東京駅はお盆に入る週末のせいか大混雑。乗り継ぎがうまくできるかドキドキ、並ぶラインが分からなくなるほど大勢の人と暑さの中、小さい子もおりこうさんに荷物を持ったまま頑張ってくれました。お迎えの保護者の方を見つけるとやはり嬉しそう。早くお家に帰っていっぱい報告したくてウズウズしている感じでした。（M. T）

◇ホストファミリーから一言

久しぶりにホストファミリーをさせて頂きました。5、6年生の女の子3人。「朝食の飲み物は何がいい？」「あ、お茶でいいです」と遠慮がちな子どもたちも「明日の朝はミルクティーが飲みたいな」「私は紅茶飲めないから牛乳でいいわ」と緊張がほぐれていく様子に嬉しくなります。ホストファミリーをして楽しく嬉しい時間は昼間のデイプログラムやキャンプの話してくれる時です。今回も楽しさが伝わる沢山の話に（ちょこっと文句をはさむ所が面白い）沢山笑いました。

思春期ちょっと手前の3人はこちらがドキっとするような大人びた言葉遣いや仕草、おしゃれな服装を身につけていますが、まだまだ危うくあどけない子どもたち。これからもいい友だちや信頼出来る大人たちに囲まれ自分を大切に過ごしてほしいなあと願っています。（N. Y）



■街頭募金 2018/3/10（土）14：00～16：00

於：JR大阪駅南 阪神百貨店西側 参加：6名 募金額：10,200円

今年も、梅田のいつもの場所で街頭募金活動を行いました。例年、3.11に近い土曜日に実施していますが、今年はいくも前日の3月10日に行うことになりました。この時期になると、3.11関連の報道がまだ盛んに行われます。通りがかったおじさんも、「テレビでやっていたやつやな」と声をかけてくれました。



3月のこの時期は急に寒くなることもありますが、今年はお天気もよくて通行人も多く、やりがいがありました。とくに、その場に到着して「募金お願いします！」と声をあげる前にいち早く私たちを見つけて、お金を入れてくれた人には力づけられました。私たちの前を通り過ぎてから立ち止まってお財布を取り出す人、信号待ちのときに気に留めて近づいてきてくれた人、自分のお財布から募金してくれた子どもさん、みなさんの小さな勇気と思いやりにより、総額10,200円の募金が集まりました。

街頭募金は、被災者支援活動の資金集めの目的だけではなく、支援の継続の必要性を広く不特定多数の人たちに訴える、啓発の意味合いもあります。私たちは、今後も支援継続の必要性を認識しつつ、粘り強く活動を続けていきたいと思えます。 (S. H)

■「フクシマの今を知る」山崎知行医師講演会 2017/6/24 於：大阪YWCA千里

内科医の山崎知行先生は、2012年から福島県の会津若松放射能情報センターを拠点に福島県各地で健康相談を続けている。福島第一原発事故から7年目の福島の現状をお聞きした。

「福島県では県内各地の放射線量が新聞やテレビで毎日伝えられている。母親からの子どもの健康状態の相談内容は鼻血、咳、皮膚のトラブル等がある。日常生活で放射線が大きな関心事となっている人々なのに、気軽に話題にできないという現実がある。他方で偉い先生は、放射線は大丈夫だから福島に暮らしてくださいと言っている。子どもたちが放射線の少ない地域で過ごす保養プログラムは有意義だ。」
大阪YWCA機関紙「おおさかYWCA」9月号より

2017年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援活動にご寄付下さった皆様

阪中雅博、白井邦子、二階堂美智子、深堀潤子、日本基督教団甲東教会エリコの会、大阪YWCA大宮保育園、大阪YWCA梅田委員会、大阪YWCA千里委員会、千里クリスマス会参加者一同、大阪YWCAクリスマスバザー実行委員会、被災者支援チーム一同

この他、大阪YWCA設置の募金箱にも多数の募金を頂戴しました。ご協力ありがとうございました

◇2017年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援 収支決算◇

収 入		支 出		
助成金	500,000	旅費交通費	参加者・引率移動費等	345,500
寄付金	334,859	プログラム費	キャンプ参加費、食材等	279,828
プログラム収入	54,000	通信運搬費		9,358
受取利息	2	消耗品費		8,482
前期からの繰り越し	382,030	保険料		6,504
		講師謝金		10,000
		講師交通費		3,320
		事務局諸経費等		299,594
		次期繰り越し		308,305
計	1,270,891	計		1,270,891

※助成金：公益財団法人俱進会